



manuia PROJECT

「サモアを知りたいあなたの情報マガジン」

飲みた～い

なつかしい！

青年海外協力隊
サモアOB会

VOL. 21



お世話になったVailima



懐かしのクロックタワー



カソリック協会



サモアJICAの皆さん

トピック

- ・サモア最新情報オンライン
- ・サモアトーク
- ・新隊員向け講座オンライン

繋

現在のサモアは!

鶴田調整員にご協力をいただきました。



サモアに赴任した2019年11月は、サモア国内では麻疹感染が拡大し、乳幼児を中心に80名以上死亡する危機的状況にありました。また、2020年初頭から、世界で新型コロナウイルスが感染拡大し、3月末にサモア協力隊員が退避一時帰国を行い、新隊員派遣が延期となりました。麻疹感染が終息して活動の仕切り直しを進めていたところ志半ばで帰国となった隊員、そしてサモア赴任に向けて準備を進めていた新隊員の皆さんの心境は察するに余りあるものがあります。2020年3月からサモアでは非常事態宣言が続き、国民生活にも少なからぬ影響が生じていますが、隊員の配属先から帰国した隊員の心情を理解し、コロナ禍を克服したのちに再派遣されることを待ち望んでいる声が事務所に届いています。現在、サモアへの隊員派遣の再開時期は未定ですが、サモア隊員の皆さんがこれまで築かれた日本-サモアの協力の灯が消えぬようJICAサモアは配属先と連携して、隊員の渡航と活動再開に向けた準備を進めてまいります。コロナ禍の困難な中、JICAサモアと新隊員、サモア隊員OBとの絆をつないで頂きましたサモアOB会の皆様に厚く御礼申し上げます。

鶴田 宏幸（企画調査員（ボランティア事業））

祝

第21号会報発行に 当たって!

多くの方々にご協力をいただきました。

今回ManuiaVoL21が無事発行することができましたことまずは皆様方にご報告するとともに発行に当たり多くの方々のご支援・ご協力をいただきましたことまずはお礼申し上げます。本年度は新型コロナウイルスで始まり、一年中コロナに翻弄された年だったのではないのでしょうか。これまで感染症としてはエイズ、呼吸器症候群（SARS）、エボラ出血熱、中東呼吸器症候群（MERS）などが流行し、日本も多くの感染症対策として国際協力を行ってきました。またサモアのデング熱はありますが、今回のコロナについては、正直対岸の火事として見ていましたがまさかこのように世界を震撼させるような感染拡大が起こるとは思っていませんでした。

さて、このような中でのOB会活動ですが、従来ですと「協力隊まつり」、「グローバルフェスタ」や「壮行会」、など対面で行う事業を予定しておりましたが、すべからく中止、または中止せざるを得ない状況となりました。感染拡大を考えた場合やむを得ない措置かと思います。しかしながらOB会としては、役員会を開催し今後の活動につき協議を行った結果、オンラインでの事業実施に舵を切ることとしました。このため皆さんのニーズを把握するためのアンケートを実施し、同結果に基づきオンラインで開催したのが11月の「サモア最新情報」です。

サモアJICA支所の全面的な協力を得て、サモアとの間で初のライブ配信を行いました。またオンラインということもあり、全国から多くのサモア関係者が参加して下さいました。まさにオンラインイベントのメリットを実感するものでした。その後OB・OGの協力を得たサモアトークや新隊員向け講座なども行いました。全国津々浦々に点在する多くのサモア関係者がオンラインでのメリットを実感することとなりました。今後も参加のすそ野を広げるためオンラインでの事業は対話式と合わせて継続していきたいと思います。また本年度は年度末にOB会の運営上のねじれを解消するために「臨時総会」を開催し、会則の改定、役員の選任などを行いました。今後はご承認いただいた内容に基づきOB会運営を適正に行っていきたいと考えております。引き続き当OB会へのご支援・ご協力の程お願い申し上げます。

大塚 一雄（昭和63年度3次隊 S E）



イベントは「サモア最新情報」として、まずJICAサモア星野支所長より、サモアのコロナ状況およびサモア政府の対応、JICAボランティアの今後の見通しなどの説明がありました。サモアでは2020年3月より非常事態宣言が発出され、国内のコロナ感染者が11月まで0名で推移し、その後も封じ込めに成功との事。次に現地スタッフの洋子さん、メイさんからのメッセージ、そして今回のイベントで最も好評だった現在のサモアの町中の映像が流れました。この映像は鶴田企画調査員がイベント1、2か月前に撮って下さり、最新のサモアが詰め込まれたもので、多くの参加者にサモアを懐かしんで頂けたと思います。その後サプライズとして、JICAオフィスからの景色の生中継があり、オンラインによりサモアを身近に感じることができました。

柳岡 寛（平成22年度3次隊 理数科教師）

本年度もご支援ありがとうございました。

本年度も皆様からの会費のご支援ありがとうございました。新型コロナウイルスの関係で従来のイベントをオンラインに切り替えたため、事業費を節約することができました。これからも従来の活動に新たな工夫が求められるところだと思いますが、臨機応変に対応しながらOB会の活性化を図りたいと思っています。引き続き、皆様からの温かいご支援ご協力をよろしくお願いたします。

THANK YOU

単位：円			
収入	金額	支出	金額
会費	117,000	事業費	128,071
事業収入	0	JOCA会費	0
助成金	50,000	雑費	110
小計	167,000	小計	128,181
前年度繰越	1,110,817	次年度繰越	1,149,636
合計	1,277,817	合計	1,277,817

援

新隊員向け講座

OB会は新隊員の皆さんを応援しています。



2019年度3次隊は駒ヶ根訓練所での訓練を終え、サモアへ派遣される直前で、コロナの影響により派遣延期を余儀なくされました。このためサモアOB会ではサモア派遣へのモチベーション維持を目的に、オンラインイベントを開催しました。11月1日に1回目を開催し、在サモアに日本人の方と繋ぎ、サモアの様子や現地の生活などについて話をしてもらったり、OVに現地での語学への向き合い方について話をしてもらったりしました。また、1月16日に2回目を開催し、サモア支所の星野支所長と鶴田調整員にサモアの現状や派遣についての情報を共有していただいたり、OVに語学上達へのモチベーションUPの考え方や学習方法などの話をしてもらったりしました。参加者からは、「いつ派遣されるのかも分からずモチベーションの維持が難しいなか、定期的にこのようなイベントを開いてくださることで、また頑張ろうと思えます。」「派遣もされてない中で、OB会の皆様が私達3次隊を仲間として受け入れて下さっているのも嬉しいです。」などの声を頂きました。不安を抱える新隊員の皆さんの力に少しでもなれたのなら嬉しい限りです。第3回目は、派遣時期に合わせて開催予定です。

渡邊 千晶（2017年度1次隊・体育）

再

2020年度第1回臨時総会

3月末にサモアOB会臨時総会がコロナ禍と言うこともあり、オンライン形式で17名の出席を頂き実施されました。臨時総会では、会則の改定、役員の改選等の承認を頂き、無事終わることができました。従来総会は、東京に集まって対面形式で開催していましたが、地方在住会員の参加が課題の一つでした。オンライン形式であれば、世界中どこに住んでいてもインターネットの環境があれば参加可能なので新たな開催方法の一つになると考えております。長期に渡り中断しておりました定期総会も近々開催を予定しておりますので、一人でも多くの会員の皆様に参加頂ければと思っておりますので、よろしくお願いいたします。新井 克芳（昭和63年度1次隊 電話交換機）



笑 コロナで一時期帰国中の 隊員からのメッセージ

OB会は新隊員の皆さんを応援しています。



タロファ。気づけばコロナ帰国から約1年経ちます。2020年3月の帰国寸前、サモアでは「またすぐ戻ってこれる」と、荷物もほとんど置いたまま、サモア人にも軽い挨拶をしただけの帰国でした。私の考えが甘かったのですが、本当に後悔しております。もう一度サモアに行って、きちんと挨拶したい、学校でもっと子供たちと勉強したい、そんな思いです。今では、日本の生活に慣れて、どんどんサモア語も忘れてしまうことが悲しいですが、また戻りたい！という気持ちは変わらないので、またはやく戻れる日を待ちたいと思います。大好きなサモアの景色、温厚でやさしさあふれる陽気なサモア人の家族、学校の先生や子供たちとまた再会できることを待ち望んでいます。！

原 奈央（2018年度3次隊 小学校教育）

仲



次世代の仲間募集

サモアのこと大好き！サモアで繋がった仲間と日本でも繋がっていたい！サモアのことを知りたい！国際協力に興味がある！など、様々な思いをもったメンバーが集まったサモアOB会も今年度で25周年を迎えました。現在JICA及びJOCA公認の正式なOB会として運営しています。具体的な活動内容は、「協力隊まつり」や「グローバルフェスタ」などの各種イベントでのサモアの広報、新隊員の壮行会及び帰国隊員の歓迎会の開催、カレンダーや会報・SNSを通じての情報発信です。当初はサモアに派遣されていたJICAボランティアで構成されていましたが、近年では国際協力に興味のある学生や社会人が「チームサモア」として一緒に活動を盛り上げています。サモアに行ったことがある人もない人も一緒に楽しく交流・活動する、それが私たちサモアOB会です。Facebookで「サモアOB会」を検索すると私たちの活動の様子が見られるので、ぜひご覧ください。

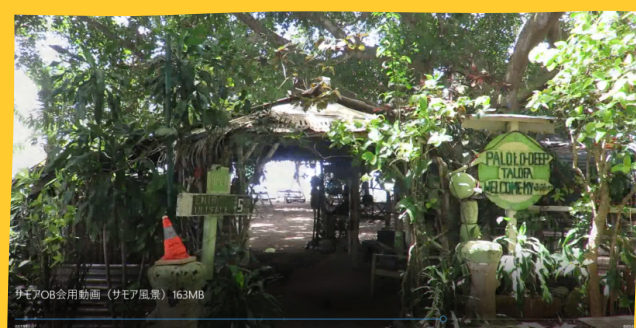
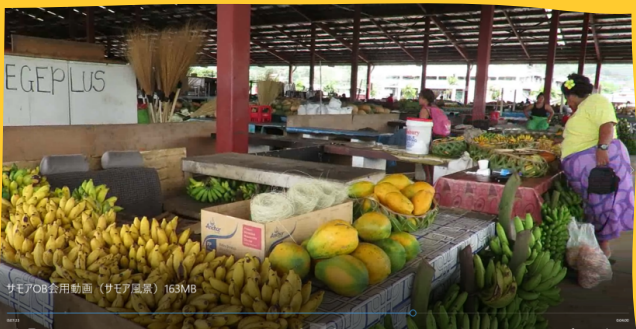
- Webサイト：<http://www.fafetai.net>
- メーリングリスト：vailima-fafetai.net@fafetai.net
※要事前登録
- OB会事務局：〒115-0042 東京都北区志茂2-58-11



飛

なつかしのサモアへタイムトリップ

さて皆さんはどこの写真かわかりますか。パロロディープの写真もあります。



輪

日本全国サモアイトプロジェクト

サモアで理数科教員として活動し帰国。IT企業で法人営業の職に就いたのち、東京都の中学校理科教諭に転職。現在、江戸川区の公立中学校で3年生の担任を行っています。教室にサモアのカレンダーを掲示するだけでなく、普段からサモアでの生活や経験を子ども達に伝えていました。今年2月、特に3年生の最後の道徳では「国際協力」をテーマにサモアでの活動について授業を行いました。子どもたちは文化の違いに驚き、海外に活躍することや国際協力について興味を抱いていました。教室にサモアのカレンダーがあり、サモアの話 frequently 聞くため、子どもたちにとってサモアは身近な国です。これからもサモアが身近で国際協力に興味をもつ子どもたちが増えるよう「サモア化運動」を継続したいと思います。

平塚 秀輔（平成24年度1次隊 理数科教師）

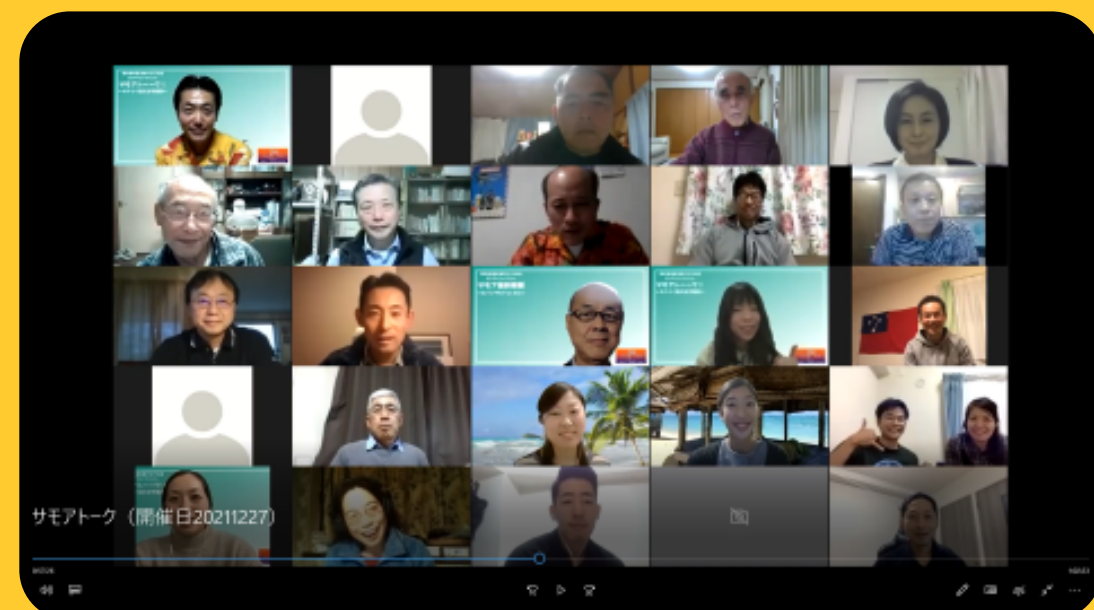
サモアってどんな国

- ①正式名称：サモア独立国
- ②首都：アピア
- ③人口：19.5万人
- ④公用語：サモア語、英語
- ⑤宗教：キリスト教

懐

サモアトーク!

新旧サバイイ隊員が大集合！オンラインイベント
で盛り上がりました



2020年12月27日（日）に、第2回サモアOB会オンラインイベントを開催しました。多くの参加の申し込みをいただき、当日は38名の方々が参加されました。この日は「サモアトーク」と題し、「サバイイ大好き隊員」というテーマでトークイベントを行いました。ゲストスピーカーには、年代の違う今村 貴幸さん（H6-3、体育）、関 美奈子さん（H18-1、家政）、西尾 和久さん（H23-1、小学校教育）、駒橋 冴季さん（H26-1、PCインストラクター）、木村 とも子さん（2017-1、小学校教育）の5名に登壇いただきました。当日はモデレーターの澤井さんからテーマが出され、それに対してゲストスピーカーの方々がご自身の経験を語るという形式で進みました。最初のテーマは「サバイイの今・昔」で今村さんからは赴任当時停電が頻発して大変だったが、代わりに満天の星空を満喫できたこと、そして満月の夜はその月明かりで他国のボランティアとバレーボールをしたといった話を伺いました。一方、木村さんの時代では電気はある程度安定的に供給され、サイクロンや悪天候などで停電はあるものの数時間で復旧した話が披露されました。次のテーマは「困ったこと、良かったこと」。関さんからは、誰しもが悩ませられる蚊に最大100箇所さされたという大変かゆいかゆい経験。駒橋さんからは、これも誰しもが経験したであろう野犬に苦労した話で、道を歩くときは両手に石を握りしめ、遭遇した際の練習として「ハル」といって投げつける練習をした経験が披露されました。笑笑また西尾さんからはホストファミリーへお金を貸し、返して欲しいといったら「西尾はケチだ」といううわさが40KMくらい離れた村まで、あっという間に広まり困ったという苦笑せざるを得ない話や、一方で村人の家に行くところでも「ココサモア」を飲ませてもらえたことや、秘密の釣り場を教えてもらったという心温まる話も披露されました。そのあとサモアにおける大きな出来事として、国名の変更、車線変更、日付変更線の変更などを振り返りました。日付変更線の変更の際には、12月30日がなく29日から31日へワープしたなどの話が聞けました。参加者との質疑応答も行われ、時代そして世代を超えた楽しいひと時を過ごすことができました。最後になりましたが、2020年度のオンラインイベントに参加・登壇してくださった皆様、本当にありがとうございました。まだ参加できていないという方は、ぜひ次のイベントへの参加をお待ちしております！

板垣 暁歩（平成21年度4次隊 理数科教師）

新

今後のOB会事業

多くの方々が参加出来るようできるようオンライ
ンと対面のハイブリッドで対応していきます。

2020年度はコロナの関係で対面方式によるイベントが中止せざるを得ない状況が続いたため、試験的に始めたオンラインイベントでしたが、アンケートなどでも非常に好評をいただいています。特に、オンライン開催によって開催場所を気にせずに参加することが出来たという意見も多く、これまで以上に多くのOVの方々が参加できる形を示すことが出来たことは、サモアOB会にとっても大きな収穫でした。今後もオンラインと対面式の両方の良さを上手く活用しながら、多くの方々にサモアを語り合う場を提供し続けていければと考えております。役員一同

挨拶

新役員紹介!

これから2年宜しくお願いします。

堅

OB会初のオンラインイベント「サモア最新情報」では、多くの方々や現地サモアと繋がることができ、これからのOB会の活動の可能性を感じました。この状況が一日も早く解消され、平穏な日々が戻ることを切に願っています。
高井 優美（平成25年度1次隊 小学校教育）



導

サモアからオンラインで生中継。コロナ禍だからこそ考えることができた画期的なOB会のイベント。日本にいながらサモアを近くに感じることができた。現地の隊員の協力を得て、日本にいながらサモア観光ができる日も近いのでは。

柳岡 寛（平成22年度3次隊 理数科教師）



静

コロナで日常を取り戻せずにいる中で、サモアの友人のFBの投稿を見ると、まるでサモアだけが全く違う世界線にいるような錯覚に見舞われます。自由にサモアを行き来できる日がいち早く訪れますように。

板垣 暁歩（平成21年度4次隊 理数科教師）



動

昨年は、幅広い隊次の方々と交流することができ、オンラインツールを有効活用することの良さを感じた一年でした。しかし、やはり会いたい！1日でも早くサモアと自由に行き来できる日が戻ってくることを願うばかりです。

渡邊 千晶(2017-1・体育)



緩

東京オリンピックパラリンピックが開催されるかどうか、いまだにもめているようですが、サモアからは選手来るのでしょうか？首相交代騒動で大変な状況のようなので、ちゃんと選手派遣できるのかどうか心配です。もし参加されるようならサモア選手の活躍を期待したいですね。

清水幹雄(平成6年度3次隊 数学教師)



準一級合格証を手にも

誠

「今、サモアでは太平洋初の女性首相が生まれようとしている所を前政権が拒否して大騒動になっています。中国からの債務が重くのしかかるサモアにとって、フィアメ女史が首相になる事が新しい風になるのを願っています。」

澤井 慶太（平成6年度2次隊 音楽）



知

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今まで当たり前の方法で実施してきたOB会のイベントや行事も新たな発想が必要ですので、会員の皆様の斬新な提案を頂きたいと思っています。よろしくお願いいたします。

新井克芳（昭和63年度1次隊 電話交換機）



渡

新型コロナウイルスで世の中は変わりましたが、OB会活動も変化しています。その一環で次世代へのバトンタッチを進めています。

大塚 一雄（昭和63年度3次隊 システムエンジニア）



動

コロナ禍となって日常は大きく変わってしまい、我慢我慢の日々でストレスの溜まるツライ毎日ですね。また自由に海外に行けるようになるのはいつになるかわかりませんが、今できること・今しかできないことにフォーカスして少しでも楽しい毎日を送らせればと思います。

木村 竜輔（平成21年度2次隊 理数科教師）

